



まだすか?!



あと、もう一步...

けんたの  
成績表

# 鈴木けんた、あきらめません。

皆さま、2期目の4年間も、私に県政で活動させていただきまことにありがとうございました!

任期の締めくくり、これまで何ができて何ができなかったのか、また4年前に掲げた「新しい秋田」が今どれくらい実現しているのかを「けんたの成績表」として報告させていただきます。

こうして整理してみると、自分が頑張った分野や未熟な分野がよくわかります。

これからもっと全方位に貢献できる政治家になれるようしっかり精進してまいりますので、

引き続きご指導よろしくお願いします!

秋田県議会議員・自民党秋田県連 政務調査会長 鈴木けんた

## 秋田市内 20 か所で小さな報告会を開催しました!

### 鈴木けんた 県政報告会

これまで託していただいた4年間で何をやってきたのか、しっかりと報告させていただきました。ありがとうございました!



# “県人口KEEP”を強く想い、10年後の秋田に約束。

4年前にお示した

※コロナ後バージョンに少し改訂しております。

## 「新しい秋田」の進捗状況!

私のめざす「新しい秋田」は、引き続きこのとおりです。人口減少問題は1つ2つの政策で解決できるものではなく、きわめて総合的な取組が必要。それぞれの項目の**完成度を高めて100%**にできれば、おのずと秋田の将来にも見通しがもてるようになります。そのために**行政も経済も政治も、そして県民の皆さんも一緒**になって歩いていきましょう!!

### ①秋田の山をよみがえらせる!

**進捗 40%**  
世界の脱炭素の流れと木材価格の上昇で、これまで苦しんできた秋田の林業にチャンス到来!

### ②公共交通の機能回復

**進捗 15%**  
市町村ごとに成功例はあるものの、まだまだ課題山積。そろそろ抜本的な改革が必要。

### ③医療と介護をしっかりと守る

**進捗 20%**  
コロナで医療・介護体制が混乱し、やや停滞。マイナカードの普及がカギを握る

### ④稼げる農村をつくる!

**進捗 40%**  
コメ依存からの脱却と農地の集積は進みつつあるものの、いまだ収益力向上は道半ば。これからです!

### ⑥秋田に住みながら世界で働く

**進捗 60%**  
コロナによるリモートワークの普及などで一気にIT企業が秋田市へ集積中!人口社会減の抑制にもすでに効果を発揮中

### ⑤秋田の子どもをふやす!

**進捗 20%**  
秋田市では社会増に転ずるなど、コロナの影響で社会減は縮小中!しかし結婚・出生数の低迷は深刻です..

### ⑨アフターコロナの観光復興

**進捗 15%**  
コロナ禍でいったん観光復興がリセット..しかしアフターコロナの反動需要はチャンス。スタイリッシュな観光地を作っていきたい

### ⑦日本の脱炭素に貢献!

**進捗 30%**  
ついに巨大な国家プロジェクトが動き出した!どれだけ秋田が潤うかは私たち地元側の努力も大事

### ⑧港の力を最大限に発揮する

**進捗 35%**  
R5年からクルーズ船の就航が復活! 秋田北ICから秋田港へのアクセス道路も工事開始し、港はこれから熱くなる!

### ⑩プロスポーツやエンタメ環境の充実

**進捗 50%**  
ミルハス開館で千秋公園の雰囲気激変!文化の薫り高い街並みに。そしてハピネットとブラウブリッツも躍進中。ハードも含めた環境整備で後押ししたい





# 鈴木けんた、2期目の通知表

『実際に何をやってきたか』を報告します！あくまで自己採点ですが..

## 5段階評価

### 1.【生活態度】(政治姿勢)

#### ①秋田を大きく変えられましたか？

1

- ▶議員としてできることは頑張りましたが、やっぱり大きな変化を起こすのは簡単ではありませんでした..。前回の知事選ではただお騒がせしただけで、大変ご迷惑をおかけしました。
- ▶でも秋田を大きく前へ進められるよう、あと一步のところまでは来られていると思います。もっと自分を磨いて、多くの方に認められるよう頑張ります！

#### ②県庁をしっかりとチェックできましたか？

4

- ▶甘すぎる政策評価を一新。「人口が全国一減っているのに政策評価はまあまあ良い」というおかしい状況でしたが、評価基準の甘さを徹底追及し、R1年度より政策評価制度を厳しく改めさせました。
- ▶佐竹県政4期目の「新プラン」で人口減少などの「数値目標を設定しない」というあきらめ？の姿勢に対し、自民会派の意見をまとめて申し入れ、改めさせました。
- ▶あらゆる施策・事業に対し実効性と成果を求め、「やってる感」だけの仕事を排除。ただし単なる批判ではなく常に建設的に提言してきました。

#### ③若い仲間を増やせましたか？

5

- ▶やはり政治は一人では大きなことはできない！ということを感じ、党派を超え全県で若手の仲間を増やしてきました。
- ▶自民党青年局に所属する地方議員は県内に30名を超え、また超党派の「秋田県若手政治家ネットワーク」では50名を超える議員・首長が参加しており、党派を問わず共に勉強し、懇親を深めています。

#### ④先輩方とうまくやれていますか？

3

- ▶遠慮なく意見を言うことと、先輩との人間関係を良好に保つことは両立できますので、ほとんどの先輩にはかわいがっていただいております。
- ▶ただ全員かといわれるとなかなか..(汗) これまで野球部、男子校、自衛隊と別に先輩に嫌われるタイプでもなかったのですが、政治の世界は難易度高いです。

#### ⑤積極的に質問に立ちましたか？

5

- ▶4年間で一般質問6回と総括審査に9回、ほとんど毎議会で質問に立ちました。準備から本番まで本当に大変ですが..しかし「質問」がやはり議員の最も大事な仕事ですので、頑張りました。
- ▶2期目の後半は会派の政調会長として質問者と項目を差配する立場でしたので、意欲的な若手に機会を譲る場面も多くなりました。

### 2.【各科目の成績】(政策分野ごとの成果)

※質問回数は一般質問・総括審査で取り上げた延べ項目数です。

#### ①人口減少を止められましたか？

2

質問回数  
15回以上

- ▶1期目で提案した高卒県内就職の促進策は見事に結果(県内就職率H29: 66.4%→R4: 80.3%)を出していますが、移住促進や大卒就職についてはあまり大きな成果を出すことはできませんでした..
- ▶ただコロナ禍の影響を受けて、県の人口社会減は大幅に縮減(H30: 4,410人→R4: 2,557人)しております。特に秋田市は、R2年、R3年と連続でなんと社会増、つまり人口の流入超過となっています！

#### ②農林水産業のために役立ちましたか？

2

質問回数  
4回

- ▶もともと県の農政は現場をよく理解していて、コメ依存脱却(園芸振興)や畜産業の発展などしっかり結果も出しているため、私の貢献はさほどでも..。
- ▶大雪や大雨による農業被害では度々現地を視察。R2県南豪雪の際は自民党会派の報告書を取りまとめ県に提言し、強力な支援を求めました。
- ▶秋田が脱炭素で貢献するための強みであるスギ人工林。その活用と再生林を、GX・DX議連会長としてしっかり進めてまいります！

#### ③医療・介護の分野でがんばりましたか？

1

質問回数  
5回

- ▶コロナ対策では、R3年9月議会で少ない感染者数に一喜一憂する姿勢と厳しすぎるレベル設定の改訂を求め、R3年10月に実現できました。
- ▶医療的ケア児への支援を議会で再三主張し、医療的ケア児支援センター「コラソン」の開設につなげました(もちろん私だけの努力ではありません!)
- ▶成年後見・未成年後見制度の現場の状況を県に伝え、一般質問等で支援を求めてR4年度の成年後見制度利用支援事業につなげました。

#### ④教育・保育について貢献しましたか？

2

質問回数  
4回

- ▶コロナ禍での保育園や部活の対応について、現場から多くの声をいただき議会で質問や若手議員有志の申し入れなどで県教委にしっかり届けました。
- ▶なかでもコロナ禍での行事実施の判断を行政が指示せず、現場に丸投げして負担をかけている点は再三指摘してきましたが、なかなか形にはなりません..
- ▶デジタル教育の推進に関し、学校現場の実情などを質問で取り上げて現実的な対応を求めるとともに、デジタル教育にどのような将来戦略があるのか問い質しました。

#### ⑤中小企業や個人事業主のために役立ちましたか？

4

質問回数  
15回以上

- ▶コロナによる飲食業の苦境については、R3年8月自民党県連として(段取りしたのは私です!)県に要望し「秋田県飲食店事業継続緊急支援金」につながりました。
- ▶R4年には自民党青年局として全県1000店への緊急アンケートを行い、県へ結果を提示し要望することで、「秋田県プレミアム飲食券」の発行を実現することができました。
- ▶コロナ禍でのわかりづらい事業者支援制度等をYouTube動画として26本配信！

#### ■プロフィール

昭和50年生まれ、新聞販売店の息子  
小学校から高校まで野球部  
19歳、阪神淡路大震災を経験  
京都大学法学部卒業  
大学卒業後陸上自衛隊に幹部候補生として入隊  
東ティモールPKO、イラク人道復興支援活動  
H18年、妻の地元秋田市に移住  
司法書士法人岡田事務所の共同代表  
妻・子ども4人+ネコの7人家族

